市長メッセージ ｜ 耐震補強について

11月8日に外部検討委員会から、また、12月7日に議会から「庁舎を利用する市民の皆様・働く職員の安全確保の観点から早急に、耐震補強を行うべき」とのご意見・ご要望を頂きました。関係する皆様方に深く感謝いたします。

私自身も「市民の皆様や職員の安全確保」を最優先して進めるべきと考えておりました。今回の外部検討委員会のご意見、市議会のご要望を踏まえ、まずは、現庁舎と消防庁舎の耐震補強を実施する事を決断いたしました。

今後の庁舎等のあり方（リノベーションや新庁舎建設）の検討につきましては、外部検討委員会や市議会において、慎重・丁寧な議論を行える様、心がけてまいります。まずは「安全確保を最優先」として進めてまいります。皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

垂水市長　尾脇雅弥

各委員会からの要望

垂水市議会

庁舎等の耐震化における要望の決議

1 耐震補強について

現庁舎及び消防庁舎の耐震診断の結果、新耐震基準を満たしていないと判定されたことから、現庁舎及び消防庁舎を利用する市民、現庁舎及び消防庁舎で働く職員の安心安全確保の観点から、早急に耐震補強を行うことを求める。

2 現庁舎及び消防庁舎のあり方について

将来の現庁舎及び消防庁舎のあり方に十分配慮できるよう耐震補強は必要最低限に留め、市民の将来の負担にならない様な現庁舎及び消防庁舎の新庁舎建設やリノベーションを含め、様々な観点から引き続き議論を行い、議論に必要な情報等については引き続き提供を求める。

また、将来の方向性を早急に図ることを求める。

3 財源問題について

耐震化を行うにあたっては、令和３年６月の同委員会で「地域防災拠点建築物整備緊急促進事業補助金」の仮要望に対し承認しているが、12 月の本要望も行い、財源確保に努めるべきである。

令和３年５月より、「耐震補強及び新築工法等の現状についての勉強会」や計７回の委員会で協議を重ね、庁舎及び消防庁舎の課題である耐震化について調査・研究を行ってきた庁舎整備検討特別委員会からの中間報告を受け、左記のとおり要望されました。

外部検討委員会

垂水市庁舎等のあり方検討委員会

現庁舎の耐震化に対する意見書

1 現庁舎の耐震化について

現庁舎については、前委員会の提言を踏まえ、今後、リノベーションや新庁舎建設の議論は継続して進める必要がありますが、市民や職員の安全確保の観点からも、一刻も早い耐震補強が望まれます。

なお、耐震補強については、できるだけ外観を損なわない耐震工法を選択されることを望みます。

2 その他意見について

- 市財政への影響を考慮し、可能な限り、国の補助制度を活用してほしい。
- 消防庁舎についても、現庁舎と同様の考え方で進めていただきたい。
- 市民への情報提供については、市民が正しく理解できるよう努めていただきたい。

令和３年５月より計５回の委員会で協議を重ね、建築や防災の専門家からの意見、市内公共団体代表からの意見、公募委員の意見を取りまとめ、現庁舎の耐震化に対する意見書が左記のとおり提出されました。